

マイ・タイムライン

坂東市

地区

家

利根川・鬼怒川・西仁連川・飯沼川

マイ・タイムライン

作成年月日

年

月

日

行政情報

黒:気象・水象情報
青:河川事務所
緑:坂東市

3日前

●台風予報
●台風に関する気象情報(随時)

2日前

◆大雨注意報・洪水注意報
●台風に関する今後の見通し

1日前

◆大雨警報・洪水警報
上流域(日光等)での大雨特別警報

半日前

水防団待機水位到達
氾濫注意水位到達
洪水予報(氾濫注意情報)発表
●要支援者施設に洪水予報(氾濫注意情報)を伝達
●避難所の開設
警戒レベル3
高齢者等避難を発令
◆大雨特別警報(緊急速報メール、防災ラジオ)
◆暴風警報

-5h

避難判断水位到達
洪水予報(氾濫警戒情報)発表
警戒レベル4
避難指示を発令

-3h

氾濫危険水位到達
洪水予報(氾濫危険情報)発表
緊急速報メール、防災ラジオ(河川氾濫のおそれがある情報)

0h

氾濫が発生
洪水予報(氾濫発生情報)
緊急速報メール、防災ラジオ(氾濫が発生した情報)

住民等(例)

●テレビの天気予報を注意
●家族全員の今後の予定を確認
●マイ・タイムラインを確認
●防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)
●1週間分の薬を病院に受け取りに行く
●家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認
●テレビ、インターネット、情報メール、防災ラジオ等で雨や川の様子に注意
●家族全員の今後の予定を再確認
●携帯電話の充電
●防災マップで避難場所、避難手段を確認
●隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話
●携帯電話の充電
●川の水位をインターネットで確認
●通行止め情報がないかインターネットで確認
●隣町への避難の開始を判断
●情報メール等で高齢者等避難の受信
●移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断
●隣町への避難完了
●市内の高台への避難の開始を判断
●川の水位をインターネットで確認
●テレビで洪水予報の確認
●情報メールで避難指示を受信
●市内の指定避難所への避難を判断
●川の水位をインターネットで確認
●市内の高台への避難を完了
●市内の指定避難所への避難を完了
●テレビで洪水予報の確認
●緊急速報メールを受信
●自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保
●テレビで洪水予報の確認
●緊急速報メールを受信

作成のポイント

遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。
事前に準備しておきましょう。
風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。
避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災ラジオや広報車などでも情報は提供されています。
避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。

雨風が強くなる前に、避難準備事項をすませておく時期

水位等の情報を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保する時期

わが家の防災行動予定

わが家の防災メモ

非常時に連絡しなければならない方などをメモしておくページです。
事前に電話番号などを記入しておくようにしておきましょう。

住所					
氏名				電話	

避難所	避難所			
	家族が離ればなれになった時の避難所			

家族の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ	家族との関係など

親戚知人の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ	家族との関係など

家族の救急用データ	氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病歴

緊急連絡先	連絡先	電話	連絡先	電話

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは?

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171 - 1 - 0000-00-0000 (相手の電話番号)	伝言保存期間	録音してから48時間
伝言の再生	171 - 2 - 0000-00-0000 (自宅の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり10伝言まで
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、携帯電話(一部除く)等